



学 校 だ よ り

令和2年7月6日 上田市立第二中学校 No.4

○「人を愛し、人からも愛される、母のような人になりたい」 ～校長講話 大野靖之さんの人生より～

学校長より、シンガーソングライターの大野靖之さんのお話をさせていただきました。

大野さんは、1982年に千葉県に生まれました。ご両親と9歳年上の
お兄さん、双子のお兄さんの5人家族の末っ子で、小さい頃から歌が
好きな、人気アイドルの真似をよくする少年だったそうです。

お母さんの留美子さんは、クラシック音楽が好きな行動的な方
のようでした。怖いけれど愛情一杯で、大野さんの歌を聞くことが何
よりも好きなお母さんだったそうです。

そんなお母さんが、大野さんが小学校の高学年の頃、「左胸が痛い」
と入院します。大野さんはとても心配しましたが、すぐにいつもの笑
顔のお母さんが家に戻ってきて、ほっと胸をなでおろしたそうです。



大野さんの曲に聴き入る二中生

大野さんは中学に進みます。しかし、成績がなかなか伸びず、そんな自分から逃げたくて、中学3年生
のとき、お母さんに反発しました。

「俺は歌手になる。勉強なんて大嫌いだから、高校には行かない。」

お母さんの顔は、厳しい表情に変わります。その目には涙が溢れています。驚く大野さんを前に、お母
さんは上着を脱ぎました。上半身裸になったお母さんを見て、大野さんは言葉を失います。

「やっちゃん。これを見なさい。お母さんは癌です。もう長くは生きられないの。だから…悲しませな
いで！」お母さんは乳癌でした。あの入院は、手術のためだったことに大野さんは気づきます。

しかもお母さんの癌は転移がかなり進み、余命がわずかであることを、宣告されていました。

大野さんは、音楽科のある高校に進学し、オペラ歌手を目指します。お母さんも、そんな大野さんを支
えようと、癌と闘いながら、パートの仕事を始めます。そして、大野さん兄弟が練習しやすいようにと、
家に防音設備のある部屋を作りました。お母さんの姿は、大野さんの心に焼きつきます。

高校3年生の7月。お母さんの病状は手が施せない状態になりました。お母さんは、ホスピスへの入所
を決意します。一方、大野さんはオペラ歌手ではなく、「自分の気持ちを言葉にして歌で表現する」シンガ
ーソングライターとして生きる決意をします。クラシックの曲を歌う大野さんが好きだったお母さんは、
その進路に反対します。

「大学くらい出なさい」というお母さんの声と「僕には夢がある」という大野さんの声が、病室の中で
飛び交うことも度々だったそうです。しかし、亡くなる1ヶ月くらい前。お母さんは、大野さんを枕元に
座らせ、穏やかな顔で「やっちゃんの好きなように生きなさい」と言ってくれたのだそうです。

1月27日。高校最後のオペラ卒業演奏会の朝、お母さんの様態は急変します。お母さんの最期を看取る
べきか、高校生活最後の演奏会に出るべきか、大野さんは迷います。すると、お母さんの心の声が響きま
した。「演奏会に出なさい、あなたは歌わなきゃだめよ。」

大野さんは、病室のお母さんに届くように、強く、優しくイタリア歌曲を歌い上げます。その歌を安心
して聞き終えたのでしょうか。お母さんは、1月29日の朝、何も言わずに静かに空へと旅立たれました。

今、大野さんは全国の小中学校・高校で学校ライブをしています。そして、私たちに、「家族の愛情の温
かさ」「命の尊さ」を訴え続けています。大野さんはお母さんについて、こんな風に話しています。

「僕は、母のように人に対して与えているものは、まだ何もありません。でも僕は、人を愛し、そして
人からも愛される、そんな母のような人を目標に歌い続けます。」

毎日近くににいるから余計にけんかをしたり、意地を張ったり。悪いなと思っていながらも、何もできな
い。それが、家族なのかもしれません。

でも、今日、ちょっと素直な心で、「あなたに逢えてよかった。ありがとう」という気持ちで、家族と話
ができそうな気がします。

○令和2年度の生徒会 ～第1回生徒総会がありました～



各教室から生徒総会に参加

～3年生の振り返りから～

「放送での総会だったので、皆さんの顔を見て総会はできませんでしたが、しっかりと進めることができました。先の見えないことも多いですが、役員と力を合わせ、気を引き締めていきたいです。」

○SNSやゲームと、どのように向き合うか～情報モラル講演会2・3年生より～

上田市城南公民館の矢澤先生をお招きし、情報モラル講演会を実施しました。

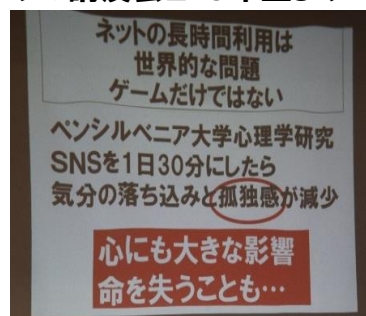
時間の感覚を忘れてSNSに没頭すると、脳に悪影響が及び、気分の落ち込みや孤独感が増し、命に関わる症状もあると教えていただきました。また、自分の写真や動画を載せることで、情報を悪用されたり、個人が特定されたりする、といった危険性を、具体例を通して学びました。

さらに、「ゲーム依存」の状態に陥ると、もとの生活に戻ることが大変難しく、治療するための専門医療機関も長野県には残念ながら無いことも教えていただきました。

ぜひ各ご家庭でも、大切な中学校生活の時期に、SNSやゲームとどのように向き合うか、改めて考えて欲しいと思います。

～2年生の振り返りから～

「話を聞いていると、自分もはまってしまうかも、と怖くなりました。ゲームは止めることがなかなか難しいです。SNSもゲームも、自分をコントロールしながらよく考えてやるようにしたいです。」



SNSの利用時間を決める大切さ

○一人一人の個性や特性として考える ～人権講演会1年生より～



1年生からも積極的に質問

長野医療専門学校、言語聴覚士学科講師の万年康夫先生をお招きし、人権講演会を実施しました。

近年、人には多様な障がいがあることが知られるようになってきたため、今必要なのは、障がいの内容について正しく知り、それをその人の一つの個性や特性として理解していくことが大切だと話されていました。

また、現在個別の特性に応じた法的な整備も進んできているため、これからは一層、その人の力を活かして活躍できるような職場や人間関係をつくっていくことが大切だ、とお話されていました。

第二中学校でも、今回お話し頂いた内容を大切に考えながら、日々の学校生活に活かしていきたいと思います。

～1年生の振り返りから～

「障がいを、その人の個性、特性として考え、自分ができる支援を考えたいです。それに、社会もやさしくなっていくべきだと思います。まず大切なのは、『知ること』、そして『考える』ことだと思いました。」

☆☆△▲今後の予定○●□■

※下記の予定は、7月6日現在のものです。今後、「新型コロナウイルス感染予防」に伴い、日程が変更されることもあります。変更の場合はその都度ご連絡しますので何卒ご了承ください。

7月 6日(月) 給食費引落日 テスト3日前部活動なし 9日(木) 1学期期末テスト(1～3年) 10日(金) 1学期期末テスト(3年) 漢字検定・教育相談①(5校時) 地区生徒会②(6校時)	17日(金) 教育相談⑤ 20日(月) 教育相談⑥ 28日(火) 個別懇談会・家庭訪問① 30日(木) 個別懇談会・家庭訪問② 31日(金) 個別懇談会・家庭訪問③
7月 13日(月) 教育相談② 14日(火) 教育相談③ 15日(水) 学年費引落日 16日(木) 教育相談④	8月 3日(月) 個別懇談会・家庭訪問④ 4日(火) 個別懇談会・家庭訪問⑤ 7日(金) 1学期終業式